

「蹴球都市」藤枝のDXによる生産性向上事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 藤枝市では、年間60回を超えるサッカー大会や合宿が開催され、年間で約16万人がスポーツを「する」「見る」ために来訪している
- ・ サッカーを中心としたスポーツツーリズム客に対して、宿泊・飲食・体験アクティビティ・交通等の情報が適切に発信されていないことに加えて、事業者がスポーツイベント時の来場者数・規模を把握できず、需給を予測できない等の課題により、需要の取りこぼしが生じている
- ・ 本事業では、観光協会と地域事業者、サッカークラブ等が連携し、スポーツツーリズム客に対して地域サイト等を通じて観光に関連する情報発信・予約機能を提供する。また、事業者を対象にスポーツイベント時の需要・来場予測等を共有し、収益の最大化等に取り組む
- ・ 情報発信の強化や予約機能の提供による来訪者の利便性向上及び周遊促進、需要予測を活用した事業者の収益・生産性向上等を通じて、「蹴球都市」藤枝としてスポーツツーリズムを通じた稼ぐ地域の確立を目指す

事業概要

スポーツツーリズム客を対象に地域サイト及びアプリ等を通じて宿泊・飲食・体験アクティビティ・交通等の消費や域内の周遊を促す情報発信や予約機能を提供する。事業者に対しては、生成AI・チャットツールを活用して過去試合での来訪者数等の実績や今後の試合の需要予測等のデータを共有し、仕入れやプロモーション、輸送手段の効率化に取り組む。

取組エリア:静岡県藤枝市

コンソーシアム名:藤枝ICTコンソーシアム

(代表事業者:一般社団法人藤枝市観光協会)

実証内容

- 1.地域サイトやアプリ等での宿泊・飲食・体験アクティビティ・交通等の情報発信や予約機能の提供による利便性向上・周遊促進
- 2.事業者への需要・来場予測等のデータの共有を通じた収益・生産性の向上

目標値

KGI 地域で消費をしたスポーツツーリズム延べ客数(6,000人)

KPI ターゲットに発信される、消費に寄与する魅力的な情報数(300件)

